

時局日誌 (四十七)

Y H

七月十七日

電氣通信施設の専用に關する件（逓信省令第七一號）公布

近衛内閣總辭職にともなふ後繼内閣首班者につき御下問を拜した木戸内府は十七

日午前葉山より歸京、直ちに宮中に參入、内大臣府に入り慎重懇慮を重ねたが、時

局多難の折柄さらに慎重を期する意味から重臣の意向を徴することに決定、十七

日午後一時宮中西瀧ノ間において重臣會議が開催せられた、出席者は木戸内府、

原樞密院議長のほか近衛公、平沼男を除く首相たりし在京の若槻禮次郎男、岡田

啓介海軍大將、廣田弘毅、林銑十郎陸軍

時局日誌

大將、米内光政海軍大將、阿部信行陸軍

大將（清浦伯は熱海に病氣靜養中）の八氏で、木戸内府を中心に重要協議を重ね

同一時五十九分散會、各重臣はそれより宮中を退出した。

【情報局十七日正午發表】本日午後一時宮中において重臣會議開催せらる。

後繼内閣組織の大命は十七日午後現首相近衛文麿公に再降下した。

十七日DNB通信社報道によれば、モスクワ防衛の要衝スモンレンスクは十六日つ

ひに獨軍によつて占領された、同地からモスクワまでの直線ロイスは約三百五十

キロである。

七月十八日

天皇陛下には十八日神奈川縣相模原町の陸軍士官學校に行幸、同校第五十五期生徒ならびに第一期將校學生卒業式に親しく臨御あらせられた。

商工大臣海軍大將從三位勳一等 豐田貞次郎

任外務大臣兼拓務大臣 從三位勳二等 田邊 治通

任内務大臣 國務大臣從三位勳三等 小倉 正恒

任大藏大臣 内閣總理大臣從二位勳一等公爵 近衛 文麿

兼任司法大臣

海軍中將從三位勳一等 左近司政三
任商工大臣 遞信大臣從三位 村田 省藏

兼任鐵道大臣

陸軍軍醫中將正四位勳二等 小泉 親彦

任厚生大臣

(各通) 內務大臣正二位 平沼騏一郎
司法大臣陸軍中將正三位勳一等功五級 柳川 平助

任國務大臣

外務大臣 松岡 洋右
大藏大臣 河田 烈
鐵道大臣 小川郷太郎
拓務大臣 秋田 清
厚生大臣 金光 庸夫

依願免本官(七月十八日內閣)

第三次近衛內閣は十八日夜成立した。

十七日夕刻後繼内閣組織の大命を拜した近衛公は同夜は平沼騏一郎男並に東條陸相、及川海相と會見したのみで組閣第一夜を送つた、翌第二日の十八日は豫ての

準備工作進捗の故もあつて、豫定通り着々組閣工作は進み、夕刻に至るや殆どその輪郭を明らかにした。しかもその組閣振りは従來のごとく組閣本部を中心に行はれる頻繁たる人の往來もなく、極めて數人の關係候補者が招かれたのみで平靜に工作は行はれ新入閣者でも小泉厚相のごときは他の方法をもつて入閣交渉があり、再任の閣僚の如きは陸、海兩相を除きほとんど電話で交渉を受ける等、現時局に相應しい落着きのうちにも冷靜な組閣が續けられた、しかもあくまで表面的な動きは見せず、東條陸相が十九日夕刻組閣本部に近衛公を訪問したのを最後の仕上げ工作として全陣容を整ふるに至つた、よつて近衛公は宮中の御都合を伺ひ同日午後七時宮中に參内、天皇陛下に拜謁仰付けられ恭々しく閣員名簿を捧呈、一旦御前を退下同九時宮中において親睦式が執り行はれ、こゝに第三次近衛內閣は組閣の大命を拜してより僅かに二十八

時間餘にして組閣を完了成立した、かくの如き短時日の組閣に成功したのは、最近ほとんどその例を見ざるところで、近衛公が如何に熱意をもつて組閣に當つたかがうかがはれ、難局突破の強力なる新態勢は第二次近衛內閣が總辭職してより三日目に早くも完成した。
近衛首相は十八日夜の初閣議散會後左のごとき談話を發表、第三次近衛內閣發足に際しての決意を表明した。
「私は圖らずも三度大命を拜し非才を顧みて寔に恐懼感激の至りに堪へません。變轉極まりなき現下の世局において皇國の使命は愈重く、眞に舉國緊張の秋であります。微力果して克く負荷の重きに任へ得るやを懼るるものであります、死力を盡して聖旨を奉行し以て聖恩の萬一に報い奉りたいと存じます。
固より現世局に處する皇國不動の國策は夙に確立せられてゐる所であり、今日は唯その急速果斷なる實行あるのみであり

七月十九日

まして、これを遂ぐるの途は一に國體の本義に則る國內諸態勢の整備強化に在りと確信するものであります。私は一億國民の熱誠なる協力を得てこの時艱を克服し、一意肇國の大理想完遂に向つて邁進致したいと存する次第であります。」

昭和十五年陸軍省令第二十五號憲兵隊配置及憲兵分隊管區中改正（陸軍省令第三〇號）昭和十四年八月商工省告示第一九六號（綿糸販賣價格）中改正（商工省告示第六三二號）纖維製廢器の最高販賣價格指定（商工省告示第六三三號）公布

【情報局發表】第三次近衛内閣成立に際し近衛總理大臣及び汪主席は左の如きメッセージの交換を行ひ今後益々勇奮東亞新秩序の建設に邁進すべき決意を新にせり

近衛首相より汪主席へ（七月十九日附）

今次の政變はわが國內體制の急速なる整備強化を斷行し、もつて世界の情勢

に對處し、國策の遂行を活潑ならしめんがため内閣の構成に一大刷新を加へたる次第は、帝國政府の發表等により御承知の通りなり、もとより帝國の對外國策には何等の變化無く、また貴國に對する既定の政策ならびに貴主席閣下過般御訪日により鞏化せられた兩國の緊密關係は微動だもせざる次第につき、右御承諒の上今後ますます勇奮東亞安定のため邁進せられんことを祈念してやまず、閣下との盟約にもとづき本大臣においても一段の努力をもつて兩國提携貴國國運の隆昌に協力せんとするものなることを特に附言す。

汪主席返電（譯文廿日附）閣下におかれては今再び組閣の天命を拜せられたる趣、昨日拜承したるをもつて、早速樞大使を通し電報をもつて御祝詞を呈しおきたるが、すでに御清覽を得たることと拜察する次第なるところ、こ

のたび日高公使を通しメッセージを寄せられ、謹んで拜受拜誦し、閣下の偉大なる御抱負を知り、喜びかつ安堵にたへず、貴我兩國は不動の方針にもとづき、共同努力しもつて和平の實現東亞の安定を期すべきものなるところ、

その基礎は閣下によりすでに深く植ゑつけられたり、余は客月親しく閣下と歡談するの機會に接し、いよゝ親密の度を深め、余が閣下と提携共進することを得たるは、一に相互信頼の熱情によるものにして、余の自信力もまたこれにより増進したるをもつて、まさに全力を盡し事に従ひ、もつて最終の目的を達せんことを期する次第なり、こゝに謹んで御禮申上ぐると共に、貴國國運の隆昌と閣下の御健康を祝す

獨軍最高司令部十九日正午發表

一、ベツサラビア戰線、ベツサラビアより進撃せる、ドイツ、ルーマニア聯合軍は數箇所においてドニエストル河を渡河

せり。

一、プリペット濕地帯北部戦線にすでに發表されたごとく、獨軍はプリペット濕地帯北部のスターリン線の堅陣を突破、スモレンスクを過ぐる地點まで戦線を擴大せり、スモレンスクはソ聯軍が頑強に抵抗したるも、すでに七月十六日獨軍により占領せられたり。

一、フィンランド戦線に獨、フィンランド聯合軍はソ聯軍の抵抗を撃破、ラドガ湖北岸まで進出せり。

十九日ソ聯最高會議幹部會は、スターリン人民委員會議長を國防人民委員に任命、現國防人民委員にして最近西部方面軍司令官に任命されたチモシエンコ元帥を國防人民委員部次長に任命せる旨發表した。かくてスターリン議長は獨ソ開戦後新設された國防委員會議長のほか國防人民委員をも兼任することとなり軍政の全權を掌握するに至つた。

七月二十日

フィンランド政府は十九日滿洲國を承認する旨を發表した。これは豫てよりのドイツ政府の斡旋が大いに功を奏したものと云ふべくかくて日、獨、伊の三國同盟を中心とした樞軸外交は一段と強化され、世界新秩序の確立に力強く邁進することとなつた。なほフィンランド國を加へて滿洲國承認國は十一箇國に達したわけで、滿洲國政府は駐獨滿洲國公使館からの公電が到着次第遅くとも二十一日中に右に關する公表および聲明を發表する模様である。

七月二十一日

國民勞務手帳及國民登録事務取扱規程(厚生省訓令第九號) 洋算筭類及卓子の最高販賣價格指定(商工省告示第六三六號)公布

本日宮中大本營において大本營政府連絡會議を開催せり、なほ今後統帥部との連絡を愈々緊密ならしめ、以て益々政戦一體の實を擧ぐるの要切なるものあるに

鑑み、内閣總理大臣は外務大臣その他所要の國務大臣と共に、隨時宮中大本營に參集し、大本營陸海軍部幕僚長および陸海軍大臣と意見の交換および諸方策の計畫を行ふこととなれり。

ルーマニア國防相ヤコヴィキ將軍は二十一日對ソ開戦以來、ルーマニアの空軍および地上砲火が撃墜したソ聯機は、現在までに二百二十三機に達してゐる旨發表した。

廿一日午前十時モスクワにおいて空襲警報が發せられ、四十五分間續いたが、何ごともなかつやうである。

七月廿二日

電信及電話制限(逓信省令第七五號) 竹筋ヲスの最高販賣價格指定(商工省告示第六三七號) ラジオ受信機用キャビネツト最高販賣價格指定(商工省告示第六三八號) 公布

本多駐支大使は外相更迭にともなひ去る十九日辭表を提出したが、豊田外相よ

り極力留任を懇請されかつ現地側一致の要望もあり結局意をひるがへして留任することになり廿、二日正式にこの意向を表明した。

二十一日午後十時十分モスクワ市内に空襲警報が發せられ、待機中のソ聯空軍機は一齊に飛び立つたが、この夜獨空軍は開戦以來最初のモスクワ空襲を行ひ、空襲は翌二十二日午前四時まで繼續された、そのため市中各所に火災が起つた。

帝國石油會社設立委員任命

帝國石油株式會社（資本金一億圓政府半額出資）の設立委員は、二十二日付内閣より委員長以下委員三十四名、委員補助八名が左のごとく任命され、二十四日帝國ホテルにおいて委員長左近司商相以下全委員が出席して第一回の設立委員會を開催、さらにそのうちより特別委員を銜して設立準備をすゝめることとなつた。設立委員左のごとし

委員長 商工大臣左近司政三、委員 法

制局參事官佐藤基、企畫院次長宮本武之輔、外務省南洋局長齋藤晉次、内務省地方局長留岡幸男、大藏次官廣瀬豐作、大

藏省主計局長木内四郎、陸軍省整備局長

山田清一、陸軍航空本部第二部長秋山徳

三郎、海軍省軍需局長御宿好、海軍省兵備

局長保科善四郎、司法省民事局長坂野千

里、商工次官小島新一、商工省總務局長

椎名悦三郎、商工省鑛山局長鈴木英雄、

燃料局長官東榮二、逓信省管船局長尾關

將支、拓務省拓南局長川村直岡、貴族院

議員一條實孝、帝國石油資源開發會長橋

本圭三郎、貴族院議員岩倉道俱、日本鑛

業社長伊藤文吉、日本生命社長成瀬達、

帝國石油資源開發社長寺尾進、衆議院議

員川島正次郎、衆議院議員佐藤謙之輔、

太平洋石油社長窪田四郎、三菱社專務船

田一雄、元協和鑛業會長原邦造、興銀總

裁河上弘一、旭石油社長長崎英造、中野

興業社長中野孝次、三井物産會長向井忠

晴、住友本社總理事古田俊之助、日本石

油副社長水田政吉

七月二十三日

賃金統制令規則中改正（厚生省令第三七

號）農業用或雇養の最高販賣價格指定（農

林省告示第五一四號）桐油の販賣價格指

定中改正（昭和十五年十一月農林省告示

第五五七號（農林省告示第五一八號）蝸

サラダ油の販賣價格指定（昭和十六年二

月告示第九七號改正（農林省告示第五一

九號）油桐實及桐油の販賣價格指定（昭

和十六年三月告示第一一二號中改正（農

林省告示第五二〇號）速乾性麻實油の販

賣價格指定（昭和十六年四月告示第一八

四號中改正（農林省告示第五二二號）冷壓

蓖子麻油の販賣價格指定（昭和十六年三

月告示第一五一號中改正（農林省告示五

二二號）椿種子及椿油の販賣價格指定（

昭和十五年十一月告示第三七一號中改正

農林省告示第五二三號）麻の販賣價格指

定（昭和十六年七月告示第五九二號中改

正（商工省告示第六三九號）ヴァルカナ

イズドフアイバー製品の最高販賣價格指

七月二十五日

定(商工省告示第六四五號)公布

ステープルファイバー販賣價格指定昭和十四年十二月告示第三七八號中改正(商

獨軍司令部發表

工省告示第六五〇號)公布

一、ウクライナ戦線において獨、羅、洪聯合軍は依然追撃を續行中

二十五日獨軍筋よりの情報によれば、獨軍は二十四日ネグヰリ附近の戦闘において二萬人の赤軍兵士を捕虜としたと、

一、東部戦線の他の地區においてソ聯軍大小部隊の包圍殲滅戦は依然續けられてゐる。

司法大臣は組閣當初種々の人選の都合から近衛首相の兼任となつてゐたがその後専任法相の銜は依然進められてゐた人選の範圍は部外にまで考慮を拂はれたやうであつたが結局部内より選ぶこととなり組閣當時より最有力者としてあげられてゐた現検事總長岩村通世氏を推すことに決した、よつて近衛首相は二十五日午後三時宮中において左の通り親任式を執り行はせられた。

一、この大包圍陣突破しあるひは包圍された部隊を救援のため來襲せるソ聯軍は、各地において慘澹たる損害を蒙つてゐる。

任大藏次官
兼預金部長官
大藏次官 廣瀬豐作
依願免本官

一、フィンランド戦線においては作戦は豫定通り進捗中で、わが方はさらに進出した。

ソ聯情報局の發表

任司法大臣
二 檢事、從三位勳
二等(檢事總長) 岩村通世

一、二十三日朝にかけての夜間わが軍はペトログゾオドスク、ポルホフ、スモレンスク、ジトミール方面において激戦を繼續した。その他の戦區では何ら本質的變化はなかつた。

免 兼 官
内閣總理大臣兼 近衛文磨
司法大臣公爵 谷口恒二
預金部長官

變化はなかつた。

資金融凍結令は獨伊兩國の利權を含む金融

右に關しホワイトハウスから次のごとき聲明が發せられた。今回の凍結令は、日本人權益の關係する金融的取引、輸出入貿易取引の全部を米國政府の統制下におき、右法令の違反に對しては刑罰を課するものである。而して今回の在米日本資産の凍結は本年六月十四日の大統領令と同様に先般の無制限國家非常時宣言に基くもので、米國の金融的利便及び日米間の通商を米國の國防及び米國の利益に對し有害なる方法で使用することを妨げんとする目的を有するものである。
註、去る六月十四日發令された在米獨伊

取引を全部米政府の管理下におくことを規定したのであるが、今回わが國に對する措置は別項ホワイトハウス聲明のごとく、金融的取引のほか輸出入貿易取引の全部に對しても凍結令を適用することになつてゐる點特に注目を要する。

英國政府もまた米國に引續き二十六日英帝國全範圍内における日本資産を凍結する旨發表した。

七月二十六日

廣幅交織絹織物(先練物及先染物を除く)最高販賣價格指定(商工省告示第六五五號) 銘仙(絹織物) 最高販賣價格指定(商工省告示第六五六號) 公布

帝國政府聲明【二十六日正午情報局發表】近時帝國と佛領印度支那との關係は昨年八月松岡「アンリ」協定を始め累次の日佛協定に依り急速に緊密の度を加へ來れる處今般更に佛印に關する共同防衛に付友好的話合により日佛兩國政府間に完全に意見の一致を見たり、帝國は日

佛間に現存する諸取極就中佛領印度支那の領土保全並に主權の尊重に關する嚴肅なる約束に依り生ずる帝國の責務は飽く迄之を嚴守すると共に今後益々日佛友好關係の増進に努め以て兩國共榮の實を擧げんことを期す。

米國政府は遂に本邦在米資産を凍結し對日經濟壓迫の擧に出たが、わが國としてはかねてより、右事態に備へて萬全の措置をとり來り現在においては在米資産も必要なる最小限度に抑制してゐる關係上、凍結される資産は比較的僅少にとゞまる見込であるが、凍結令の運用方針如何によつては日米經濟關係に極めて重大なる影響をなすものであり、帝國政府は米國今回の凍結措置に對し重大なる關心を拂ふとともにこの際これが對抗策として外國爲替管理法關係省令(現存)および今回新たに外國爲替管理法に基き外國人關係取引取締規則を定め、外國人所有にかゝる在本邦資産の自由處分を一切許可

制度とし、外國人資産の凍結措置をとり二十六日同規則を發表、二十八日公布即日實施することになつた。しかして政府は米國の本邦在米資産凍結措置に對抗し先づこれを米國人ならびにファイリツピン聯邦人に適用することになつた。新に制定される外國人關係取引取締規則の要綱は次の通りである。

【外務當局談】 駐日クレイギー英國大使は本國政府の訓令にもとづき本廿六日午後二時半豊田外務大臣を外相官邸に訪問し二十六日附公文を以て英國政府においては一九一一年四月三日の日英通商航海條約、一九三四年七月十二日の日印通商關係に關する條約および一九三七年六月七日の日緬通商關係に關する條約はこれらの文書の署名當時英國政府、印度政府及びビルマ政府が有して居つた目的を最早みたり居るものとは認められないとの結論に達したのでこれら條約を廢棄するとの趣旨を通告し來つた。ちなみに右廢

棄通告があつても日英通商航海條約はなほ一箇年間他の二つの條約はなほ六箇月間效力を存続するものである。

二十六日英國政府は日英通商航海條約を廢棄する旨發表した英當局は今回の日英通商條約廢棄に關し二十六日左のごとく英政府の意圖を説明した。

今回の英國の措置により日英間の條約が即刻無効になるといふわけではない、すなはち日英條約には特殊條項があり、條約廢棄および正常時における條約更新につき規定するところであるからである。たゞし現在は正常時ではない。

七月二十七日

淺田部隊長を總指揮官とする各部隊海鷲は二十七日事變はじまつて以來の大編隊をもつて五隊にわかれ敵空軍再建の本據たる成都の第五次空襲を決行した。午後二時ごろ相前後して成都上空に殺到した海鷲は、敵が撃ち出す熾烈な防禦砲火をものともせず、周邊の各飛行場および

城内西部を急襲、飛行場では格納庫、倉庫その他重要諸施設を、城内西部で軍司令部、空軍諸機關、空軍諸部隊、軍需品工場などに巨彈を連續的に浴びせて痛烈に爆碎した、かくて敵機は恐怖の餘りか一機も姿を見せず、わが海鷲は成都を徹底的に震撼せしめて全機無事歸還。

大藏當局談 今回の對米措置は、米國の資産凍結令發動に對する對應策としてとられたものであつて、その運用方針については、米國における凍結令の運用振りとにらみ合せて、一般的許可その他の方法により、つとめて伸縮性をたしめ、日米間の經濟關係に與へる影響をすくなくからしめる方針である。

七月二十八日

陸軍自動車學校令廢止(勅令第七八九號)
外國人關係取引取締規則(大藏省令第四六號)
軍司令部令改正(軍令陸第一八號)
帥團司令部令改正(軍令陸第一九號)公布

佛領印度支那の共同防衛に關する日本國「フランス」國間議定書は、二十八日の樞密院本會議で可決し、國內手續を完了したので、外務省では同日夕刻を以てこの旨を在ヴィシーの加藤駐佛大使あて訓電した。今回の議定書は批准交換をまたず正式調印と同時に効力を發生するのでヴィシーにおいて加藤大使とダラソン副主席兼外相間に調印完了の公電あり次第、政府はこゝ一兩日中に議定書正文を發表する。

本日海軍航空部隊は重慶、自流井、内江、瀘縣を大舉空襲、敵軍事施設および工業地帯を爆撃したり、重慶上空にて敵機九機と遭遇、交戦せるも敵機は戰意なく逃避した。

大藏省は香港に對し、外國人關係取引取締規則を適用することになり、廿八日右の旨を發表した。

大藏省は英本土ならびに北アイルランド聯邦國および香港に外國人取引取締規

則を適用することになつたが、次の本邦法人を外國人關係取引取締規則第四條第一項第一號乃至第三號によつて指定國系外國法人に該當するものとして發表した。

【東京市所在】株式會社セール商會、株式會社セール・スワン商會、株式會社ダブリー・エム・ストロン商會、合名會社浪速貿易商會、株式會社ホスピタル・サブライ商會、株式會社ムラー・ファイブ・ス・エンド・セラース

【鎌倉市所在】材木座合名會社

【横浜市所在】ジェー・カルノ・エンド・コンパニー株式會社、ゼ・スワイヤ合名會社、ソルター合名會社、橋合資會社、帝國船舶株式會社、東洋バブコック株式會社、ホルト合名會社、ライジンダサン石油株式會社

【大阪市所在】昭和棉花株式會社、帝國製糸株式會社（大阪府中河内郡）、モーガンイト・カーボン株式會社、

【神戸市所在】國際共同有限會社ニズラ・グリーン合名會社、有限會社エ・カメロン商會、ニ・シ・シム合名會社、キンリム合名會社、株式會社クーパー・フィンダレー・エンド・コンパニー、株式會社神戸大阪

プレス社、合同輸出株式會社、サンマ合名會社、合資會社ザ・ヒル・フアマシー、ジー・トール・ホテル株式會社、株式會社ゼー・ウイトコウスキー商會、株式會社

テングニバ椰子園、日本レンドラム株式會社、日本ダンロップ護謨株式會社、日本グリーンネルスプリンクラー株式會社

（兵庫縣武庫郡）、合資會社バテン・マツケンジー商會、バーニー合資會社、合資會社萬國塗料製造所（兵庫縣芦屋市）、マ

ーカス・ハリス・エンド・ルイス合名會社、株式會社マキノン・マツケンジー・エンド・コンパニー（ジャパン）リミテッド、

株式會社ユニコトレイディング・コンパニー、株式會社レーン・クロフォード・エンド・コンパニー、ロビンソン合名會社

（兵庫縣飾磨市）

【下關所在】合名會社瓜生商會

◇香港系

【大阪市所在】中外合密工業株式會社

【兵庫縣有馬所在】クリフオード・ウキルキンソン・タンサン鑛泉株式會社

【神戸市所在】ローラ・エンド・フオーガス合名會社

モギレフ地區に包圍された赤軍部隊の殲滅戦は二十七日急速に進捗し、赤軍兵士の捕虜はさらに一萬二千人増加、合計三萬五千に達した。鹵獲した大砲は結局二百五十門となり、なほ他に七百五十挺の機關銃が獨軍の手に歸した。

七月二十九日

陸軍諸學校生徒採用規則中改正（陸軍省令第三二號）可鍛鑄鐵最高販賣價指定（商工省告示第六五八號）乙種警防團股引及販掛最高價格指定（商工省告示第六五九號）特免綿織物昭和十五年五月第二二二號中改正（商工省告示第六六〇號）

公布

檢事從四位勳三等 松 阪 廣 政
任檢事、補檢事總長

日佛兩國政府は最近の世界情勢にかんみて兩國の東亞における自衛上の立場から去る二十一日、佛領印度支那に關する共同防衛につき全面的な合意が成立し、帝國政府は去る二十六日、右に關して重大聲明を行つた。しかして、右に關する現地細目協定も去る二十三日、在佛印のわが澄田機關長とドクレー佛印總督との間に妥結を見るに至つたが、大本營陸海軍部では二十九日午後八時に至り『七月二十九日我陸海軍部隊を佛印に増派せられり』との重大發表を行つた。帝國政府はすでに昨年八月三十日に妥結を見た、松岡・アンリ協定の基本精神にそつて『佛國側は支那事變完遂上帝國陸海軍が印度支那において必要とする軍事上の便宜供與をすべて承諾』することの協定が昨年九月二十二日成立し、わが陸、海軍部隊

は翌二十三日拂曉こゝに北部佛印に歴史的な平和進駐を行ひ、援將最大のルートを完全に制壓して支那事變の様相に根本的變化を齎した、その後約一年、わが陸海軍の精銳は、南部佛印にまで増派せられるといふ歴史的にして劃期的な新段階を迎へるに至つたもので、我國としては支那事變の完遂と東亞共榮圈の確立のため一大礎石が建設されたものである。

佛領印度支那の共同防衛に關する日本國「フランス」國間議定書

大日本帝國政府及「フランス」國政府は現下の國際情勢を考慮しその結果佛領印度支那の安全が脅威せらるる場合に於ては、日本國が東亞に於る一般的靜謐及自國の安全が危險に曝されたりと爲す理由あるを認め此の機會に一方日本國に依り爲されたる東亞に於る「フランス」國の權利及利益特に佛領印度支那の領土保全及印度支那聯邦の全部に對する「フランス」國の主權を尊重する旨の約束を、

他方「フランス」國に依り爲されたる日本國に對し直接又は間接に對抗するが如き性質の政治上經濟上又は軍事上の協力を豫見する何等の協定又は諒解をも印度支那に關し第三國と締結せざる旨の約束を新にし左の諸規定を協定せり。

一、兩國政府は佛領印度支那の共同防衛の爲軍事上協力を爲すことを約す。
二、前記協力の爲執るべき措置は特別取極の目的たるべし。

三、前記諸規定は其の採用の動機と爲りたる情勢の存續する限に於てのみ效力を有すべし。

右證據として下名は各本國政府より正當の委任を受け本日より實施せらるる本議定書に署名調印せり。

昭和十六年七月二十九日即ち千九百四十一年七月二十九日「ヴィシー」に於て日本文及「フランス」文を以て本書二通を作成す。

加 藤 外 松

ダ ル ラ ン

二十九日獨軍當局發表によれば、獨ソ開戦以來暫く休眠状態にあつた獨潜水艦は大西洋において、英國護送船團を襲撃護送の英艦と激戦を交へつゝ、英商船十九隻合計十一萬六千五百トンを撃沈し、さらに驅逐艦一隻、小艦艇一隻を撃沈するといふ大戦果を挙げた。

七月三十日

工業用智利硝石の販賣價格指定の件 昭和十五年十一月告示第七〇四號中改正
(商工省告示六六一號 綿製布帛製品の最高販賣價格指定(商工省告示第六六三號) ゲートル及衫織ゲートル用生地販賣價格指定、昭和十六年二月告示第一五四號中改正(商工省告示第六六四號) ステーパーファイバー及ステーパーファイバー糸の販賣價格指定、昭和十五年一月告示第一四號中改正(商工省告示第六六七號) 公布

廣水(信陽南方)の東方山地に巧に潜

時 局 日 誌

入した二十二師の主力約二千を掃蕩すべくわが横田、鬼頭、吉川の諸部隊は二十六日來、廣水より行動を起し、二十七日廣水東方二十五キロ沙河店附近で約一千の敵と遭遇、これを潰滅せしめた、二十九日までに判明せる戦果は敵遺棄死體三百四十二。

七月三十一日

海軍施設本部令(勅令第七九八號)厚生省官制中改正(人口局衛生局豫防局、生活局、労働局、職業局)(勅令第八〇〇號) 公布

大本營陸軍部發表、一、佛印に増派せられたる我陸軍部隊は去る二十九日より佛印軍協力の下にサイゴン及同地附近に上陸中なり。一、同地方面最高指揮官は陸軍中將飯田祥二郎なり。

八月一日

佛領印度支那の共同防衛に關する日本國フランス國間議定書(條約第一四號)新開用卷取紙供給制限規則中改正(商工省

令第六九號)更生糸販賣價格指定昭和十六年四月告示第二九〇號中改正(商工省告示第六六九號)公布

山口縣知事

武井 祥嗣

任厚生省人口局長

任厚生省社會局長

川村 秀文

任厚生省生活局長

任山口縣知事

佐々木 芳遠

海軍に於ける建築及土木に關する官廳として八月一日附海軍施設本部を設置し之に伴ひ海軍省建築局を廢止せらる、尙各海軍建築部長は技術上のことに關し海軍施設本部長の區處を受くることとなり、初代海軍施設本部長は海軍中將小池四郎なり。

江北鹽城周邊における阜寧、益林附近を掃蕩中のわが南部、但馬、加藤、柴田の諸部隊は、一日引きつゞき鹽城を中心とする数十キロにわたり、炎熱を冒しクリーク地帯を突破して共産新四軍を隨所

に捕虜し殲滅しつゝある、三十一日まで
に判明せる綜合戦果は左の如し。

敵遺棄死體八百四十、捕虜百六十五、

歸順四百、鹵獲品重機一輕機十、その

他自動小銃、小銃各種彈藥、測量機械

自動車、レール、鹽、屑鐵など多數な

ほわが方戦死十一

八月二日

地方分與税法施行規則中改正（内務大藏

省令第一二號）木炭最高販賣價格指定（農

林省告示第五〇號）臨時配給肥料最高

販賣價格指定（農林省告示第五一號）

公布

滿洲國政府はこのほど樞軸陣營の一翼

として誕生したベルカンの新興國クロア

チア國を二日承認することに決定、張國

務總理はこの旨同日パヴエリツチクロア

チア國務大臣宛に電報をもつて通報し

た。これにより滿洲國が國家として承認

したのは、スロヴァキアとクロアチアの

二箇國で、正統政府として承認したスベ

インフランク政權、中華民國汪政權をあ

はせると四箇國をかぞへ滿洲國の國際的

地位は東亞共榮圈の一支柱としてますま

す重きを加へて來た。

海軍最高指揮官新見政一中將は南部佛

印増派部隊護送の任務を了り軍艦〇〇に

て二日午前十一時半堂々軍艦旗をなびか

せながらサイゴン港に入港、邦人および

佛安南人の熱狂的歡迎を受けた。なほ新

見最高指揮官は午後ベランジェ佛印海軍

司令官を訪問挨拶をかはした。

四日快晴を利用してわが陸軍の大編隊は

中國共產黨の據點たる延安を奇襲、敵軍

事施設に必中彈を叩きつけて多大の損害

を與へた。延安爆撃は昨年四月以來實に

一年四箇月ぶりである。この日わが小川

部隊長を始め諸部隊の精銳は翼をつらね

て、眞白に輝く積亂雲を縫つて午後零時

五十分延安上空に至り熾烈なる地上砲火

を冒して抗日軍政大學、放送局、飛行場

軍需品倉庫などに互彈の雨を降らして軍

事施設を木葉微塵に爆破炎上せしめ、全
機無事歸還した。

八月四日

家計調査施行規則（閣令第一六號）家計

調査施行心得（内閣訓令第五號）公布

佛印派遣軍四日午後六時發表——日佛

印共同防衛協定にもつき派遣せられた

る佛印派遣軍は七月二十八日南部佛印に

上陸を開始以來サイゴンおよびナトラン

附近各地區に進駐のところ、各地とも佛

印側の友好精神により極めて平和裡に進

歩し八月四日その配置を完了せり。

八月五日

滿洲國生産輸入税免除の件（勅令第八〇

五號）陸軍管區表施行（軍令陸第二十號）

公布

政府は對日資金の凍結等國際情勢の變

化に伴つて輸出不能となつた商品につき

これが對策として前議會の協賛を經たる

貿易振興施設費豫算外契約にもとづく費

用一億圓中より丙種分割當二千萬圓をと

りあへず五千萬圓増額して七千萬圓となしこれを限度として輸出不能商品買取の損失補償を行ふこととなり五日の閣議において左近司商相小倉藏相よりそれ〴〵説明諒解を求めた。

八月六日

孔明煉炭及豆炭販賣價格指定昭和十五年九月告示第五一八號中改正（商工省告示第六八〇號）綿綱、綿細引、畜産用手綱畜産用頭絡及綿糸パツキンダ販賣價格指定、昭和十六年五月告示第三八二號中改正（商工省告示第六八二號）防空用防毒画及防空用防毒服の最高販賣價格指定（商工省告示第六八三號）瓦斯計量器用具の最高販賣價格指定（商工省告示第六八四號）公布

那穴（沙洋東南方七五キロ）附近に潜入して齣動中の四十三、百十六、百二十八、新編二十三各師の敵を徹底的に掃蕩すべく、我が矢野、梶浦、小浦、川名、新井の各部隊は、二日夜より行動を開始

東西北の三方面からクリイタ、湖沼などが無數に點在する濕地帯を進撃戰果を擴大中である。

すなはち東方より進撃の小浦部隊は、四日揚家場附近の百十六師、新編二十三師の敵約二千名を撃破して龍灣附近へ進出梶浦部隊は沙市附近より西に向ひ二日曹家場を占據、さらに彭家場附近の四十三師千五百名を覆滅中、北方より行動を起した新井、矢野、川名の各部隊は四日浩子口場を占據したのち新編二十三師三千五百名を撃破しつつ南進中

また外圍、酒井の兩部隊は小浦部隊に協力して南下し、四日朝老新口、李家場を占據した。五日までの綜合戰果は遺棄死體九百四十五捕虜四十五、小銃九十七輕機九。

獨軍最高司令部六日特別發表表に去る七月十一日の發表以來東部戰線における獨軍の戰果はつぎのごとく飛躍した、すなはちソ聯兵捕虜八十九萬五千、破壊乃至

鹵獲ソ聯戰車一萬三千四百十五臺、破壊乃至鹵獲ソ聯大砲一萬三百八十八門破壊乃至鹵獲ソ聯機九千八十二機である。かかる戰果は獨軍自身の最も大膽なる豫測を遙に凌駕するものである。

獨軍最高司令部六日特別發表表に、東部戰線中央部においてはフォン・ボツク元帥麾下の獨軍團はスモレンスク地區における大戦闘を終結した。空間、時間および激戰の度はこの戦闘の特徴であり、ポルシエヴァイキ軍に對する無慈悲なる破壊戰の連續として史上稀有のものである。一、フォン・クルーゲ元帥、シュントラウスならびにフォン・ワイヒス兩旅團長麾下の獨軍ならびにグ德里アン、ホート兩旅團長麾下の戰車部隊は敵に甚大なる損害を與へ、敵兵三十一萬を捕有とし戰車三千二百五臺、大砲三千一百二十門を鹵獲ないし破壊した。一、ケツセルリンク元帥麾下の獨空軍はかゝる勝利における決定的役割を演じたこの方面の戦闘

においてソ聯空軍の損失は一千九十八機に達した。

東部戦線の戦局に關し久しく沈黙を守つてゐた獨軍最高司令部は六日午後零時半四つの特別發表を行ひ、獨軍は三箇所においてスターリン要塞戦を突破し進出しつゝある大戦果を公表、同時に各方面の獨軍司令官の陣容をも發表、こゝに戦局は赤軍潰滅の最後の段階に向つて新發展を見るべき旨を宣言した。

八月七日

機構鉛筆及替心の最高販賣價格指定（商工省告示第六八九號）公布

畏き邊りでは今次事變に赫々たる武勳を樹てた英靈および勇士に對し行賞の御沙汰あらせられ、第二回支那事變生存者論功行賞として七日賞勳局ならびに陸海軍兩省から發表された、今回の恩命に浴したものは、陸軍では北支津浦線沿線の敵を撃破、台兒莊附近の激戦を経て武漢攻略戦に参加した佐々木（到）（磯谷（廉）

篠塚（義）部隊、上海戦、揚子江遡江作戰のち南支に轉戦した鹽田（定）（重藤、

波田（重）飯田（祥）部隊、杭州灣上陸、南京攻略、徐州戦に参加の沼田（徳）（末松（茂））部隊、北支山西省原平鎮忻口鎮附近に勇戦した篠原（誠）部隊、徐州戦に勇戦した、田村（元）部隊、北京附近一帶の警備に任じた長谷川（美）部隊等に屬し武功を輝かした軍人（將官を除く）軍屬である、事變勃發以來偉功を重ねた現役者一部既に現役を離れたるもの、召集解除者および昭和十五年四月二十九日、以後死歿したものを含む一萬二千名（將官なし）である

重慶政權では去る六月五日のわが空襲による防空壕内の窒息事件につき、監察調査委員會を組織し現地調査を進めてゐたが最近の調査報告によれば、

死亡者總計一萬三千五百廿四名そのうち軍人將官卅、佐官七十餘、尉官百廿餘、准尉七十餘、文官勲任廿八、奏任五

十二、判任九十四

の驚異的數字を示してゐる。これがたゞ重慶では同事件發生以來軍官民の間に反戦氣分頓に濃化し蔣介石必死の宣傳謀略に對しても極めて氣乗薄の體である。

わが陸軍の大編隊が敵の虚をついて六日夜、薄暮爆撃を敢行して諸軍事施設を爆破炎上せしめた西北ルートの要衝寶雞を七日早朝再び濱野部隊の陸軍は敵の寢込みをおそつて奇襲、昨夜の爆撃によりいまだいづつてゐる市街に残存軍事施設を求めてこれを瓦潰しに反復爆撃し、兵工廠器材庫などの軍事諸施設を徹底的に爆破、一舉にして殆んど全市を潰滅せしめて悠々基地に還つた。

ドイツ軍司令部は七日正午スモレンスク地區の戦鬪經過を次のごとく發表したすでに特別發表によつて公表したごとくフォン・ボック元帥麾下の軍團は、ケツセルリング元帥麾下の空軍と協力し、スモレンスクの大戦鬪を成功裡に終結した

わが方の損害は大したことはなかつたが敵の損害は異常に大きかつた、約三十一萬人の捕虜がわが手に落ち、三千二百五臺の裝甲自動車三千二百二十門の大砲とその他の莫大なる軍需品が鹵獲された。ソ聯空軍は一千九十八臺の飛行機を失つた。

八月八日

労働統計毎月調査令(勅令第八〇九號)醫療保護法施行令(勅令第八一〇號)青果物配給統制規則(農林省令第六〇號)莫大小製品販賣價格指定昭和十五年十二月告示第七八二號中改正(商工省令第六九〇號)特免毛製品の販賣價格指定昭和十六年二月告示第一〇〇號中改正(商工省告示第六九一號)旋盤販賣價格指定昭和十五年一月告示第一九號中改正(商工省告示第一九號)中改正(商工省告示第六九三號)公布

八月二日以後本日まで支那事變戦況の概要の通り。

◇江蘇省鹽城を中心とする新四軍および第三師に對する第一期の掃蕩戦を終つた我軍は依然要點を占據確保して第二期作戦を準備中である。今日までの総合戦果は敵遺棄死體一〇四八、捕虜一四〇、鹵獲品輕機八、小銃二二二その他多量の食鹽をも押収した。

◇重慶當局は我が軍の移動狀況を偵知或はこれを牽制せんとしてしきりに威力偵察および遊撃戦を督勵してゐるが、戦意喪失せる敵軍は投降するもの續出の狀況である。すなはち七月廿四日には地方遊撃隊長以下三二〇名が江蘇省如皋警備隊に機關銃三小銃一五四を携行して歸順し、また七月末には浙江省長興守備隊に新編第七師の中隊長以下將校五、准尉七、下士官十八、兵四十四名が投降し來たり、八月四日には安徽省和縣警備隊に江北遊撃第十縱隊第一支隊長以下二千名が迫撃砲三、輕機四十二、小銃三百を携へて歸順した

ごときその例である。

◇宜昌北方地區の敵第八十五師第十五師新編第四師に對する覆滅戦は、先月下旬以來二週間に互り續行中であつたが多大の戦果を收めて一段落し、また湖北省沙洋鎮附近の敵新編第二十三師に對しても本月始めから航空部隊協力下に掃蕩戦が進められてゐる。

◇陸軍航空部隊は從來主として地上作戦に密接に協力してその威力を示して來たが、八月初頭より果然奧地進攻作戦を開始し連日敵後方の要地要衝を目標として猛烈なる爆撃を敢行し、敵抗戦力の爆碎と抗戰意思の破摧に努めつゝある。

山東省を中心とする七月中の敵匪討伐綜合戦果左の通り(括弧中は共產軍)

△交戦回数四百四十八(二百六十六)△交戦敵總兵力八萬三千百餘名(五萬二千三百餘名)△敵遺棄死體三千百十九(千六百六十五)△捕虜五百五十九(二

百七十七)△鹵獲品小銃千二百八十一、
同彈藥三萬七千二百六十二、同
彈藥九百四十二、輕關銃七同彈藥五百
十七、自動小銃十二、同彈藥百二十八
手榴彈八千五百十二、その他武器、通

信材料、被服など多數△覆滅せる敵諸
施設武器製造所一、彈藥製造所一、印
刷所一、手榴彈製造所一

獨軍は新作戦の結果、ウクライナにお
いて既に最初の大戦果を収むるに至つた
ソ聯軍の第六軍、第十二軍ならびにソ聯
軍第十八軍の一部、すなはち總計約廿五
個師團におよぶ歩兵山嶽、機甲各師團は
レール上級大將麾下の獨空軍の協力に下
作戦せるレントシュテット元帥麾下の獨
軍によつて殲滅された。わが軍がこの戦
闘において獲たる捕虜の數は十萬三千に
上り、そのうちにはソ聯軍第六軍及び十
二軍の各司令官も含まれてゐる、わが軍
の鹵獲せるソ聯兵器は裝甲自動車三百十
七臺大砲八百五十八臺、トラツク五千二

百五十臺、貨物を満載せる多數の列車そ
の他無數の各種兵器である。敵死傷者の
數は目下のところ確認されたところの
みでも二十萬以上に及んでゐる。

八月九日

勞働統計毎月調査施行規則(閣令第一七
號) 醫療保護法施行規則(厚生省令第四
一號) 勞働統計毎月調査施行心得(内閣
訓令第六號) 活性炭の最高販賣價格指定
(商工省告示第六九六號) 紙函及紙函材料
販賣價格指定昭和十五年十二月告示第七
八六號中改正(商工省告示第六九七號)
公布

九日スイスのヴェルソフ發のニューヨ
ーク・タイムス特電によれば今回ドイツ
政府とヴィシー政府との間に廣範圍にお
たる新軍事協定が成立し近く正式調印さ
れると報ぜられてゐる。その内容は獨佛
兩國のソ聯に對する攻守同盟であつてフ
ランスは休戰條約の負擔軽減ならびに捕
虜の釋放その他占領地域内の自由を回復

する代償として東部戦線の獨軍のために
軍需品を供給し必要に応じて佛軍を派遣
協力させることを約したものといはれて
ゐる。

獨軍最高司令部九日特別發表によれば
スモレンスク東南百キロの地區において
進行中であつた殲滅戦は遂に終了、赤軍
の捕虜三萬八千、鹵獲および激破せる戰
車二百五十、大砲三百五十九門に上つ
た。

八月十日

泰國政府は八日夜重ねて左のごときステ
ートメントを發表した。

泰國は現在依然として凡ゆる國に對し
友好政策を堅持してゐる最近某國が軍事
基地建設を要求したといふ風説が行はれ
てゐるが、かゝる要求は如何なる國から
も提出されてはゐない。また外國におけ
る軍隊の行動については本政府は何等の
關心を有せざるものである。泰國はいづ
れの側から軍事的侵略を受けようともこ

れを懼れるものではない、われわれは若し中立維持のためやむなきに至れば最後の血の一滴までも賭してこれと戦ふであらう。

八月十一日

リヤカーフレーム最高販賣價格指定（商工省告示第六九八號）醫藥品最高販賣價格指定（商工厚生省告示第九號）公布

延安、寶雞など陝西省一帯の敵重要據點を痛爆中であつたわが小川、高橋、別府、坂口、大平各部隊の大編隊は十一日重慶西郊八キロの軍需工場地帯に突入、敵が新設した大兵工廠ならびに軍需品倉庫群に中弾を叩きつけて爆破炎上せしめ、一舉にして殆んど潰滅に瀕せしめた。

十日のUPPローマ電によれば、獨伊兩國を始め、ハンガリー、ルーマニア、ブルガリア、フィンランド、スロヴァキア、クロアチアの樞軸諸國は近來増大しつつある米國の歐洲干渉に對應し、こゝ二週間にウイーン又はヴェネチアにおい

て歐洲樞軸國統一戰線確立のため八ヶ國會議を開催する模様といはれる。

緊迫せる國際情勢に即應し臨戰態勢の急速なる整備強化を期すべき四勅令案要綱審議の國家總動員審議會第十七回總會

は、十一日午後二時から同七時まで五時間間にわたつて慎重熱心な審議を行つた結果

一、諮問第五十七號 價格等統制令中改正に關する勅令案要綱（總動員法十九條關係）

一、諮問第五十八號 海運統制令中改正に關する勅令案要綱（同十九條關係）

一、諮問第五十九號 株式價格の統制に關する勅令案要綱（同十九條關係）

一、諮問第六十號 會社所有株式評價の臨時措置に關する勅令案要綱（同十一條關係）

の四諮問事項をいづれも政府原案通り可決答申した。

鈴木部隊長を總指揮官とする海鷲の精

銳は十一日未明曉鬪を衝いて大舉出動、明を利用して四川上空に立ちこめた積亂雲を見事に突破、敵空軍再建の重要據點たる成都を空襲した。日の出直前に成都に突入した海鷲の大群は直ちに溫江、太平寺、雙流の各飛行場を猛然急襲、飛行場諸施設および附近軍事重要施設に巨弾を叩きつけて完膚なきまでに爆破炎上せしめれば不意を衝かれて狼狽する敵機を捕捉逃亡せんとする敵機五機を空中戦で見事に撃墜、更に死物狂ひに射ち出す敵の高射砲をもともせず猛然急降下して地上の七機を銃撃で炎上せしめまた九機を大破せしめた。かくて敵の大型機三機戰闘機十四機その他四機合計二十一機を見事に粉碎飛行場諸施設附近軍事施設などを覆滅、敵空軍の重要據點たる成都を徹底的に震駭して全機堂々鵬翼を連らねて〇〇基地に凱歌を擧げた。

南支艦隊報道部十一日午後六時半發表

——本十一日田中部隊長を總指揮とす

る鍋田、峯、秋山、中原、須藤各部隊長の率ある海軍航空部隊は折からの好天に乘じ、昆明西北の重要軍需品倉庫ならびに發電所を猛爆、全弾命中、有效なる攻撃を實施、全機悠悠基地に歸還せり、本日敵機は逸早く逃走し、高角砲の反撃まは行はれず。

江北沙洋鎮南方區掃蕩中のわが各部隊は七日沙洋鎮南方四十五キロ土地口堂附近にて約四千五百の敵と遭遇激戦の後これを撃退、陸海空軍の協力を得て九日つひに敵の根據地白島市（沙洋鎮南方七十キロ）を占領した、十一日までに判明せる戦果は遺棄死體二千三百六十、捕虜百六十七、輕機三十二、小銃三百六十二。

吉満を中心に蠢動をつゞけてゐた敵匪は去る四日以來徹底的痛撃を加へられ再起不能に陥つたが、これに對し浙贛線金華の敵第十六、十九兩師が主力約六千を應援に繰出して來たので八代、齋藤、田中の各部隊は緊密な連絡をとりつゝ、こ

の敵を樓前附近の濕地帯に誘致し十一日未明を期し一齊に攻撃に移つた。わが包圍網に湖沼地帯で身動きできなくなつた敵は死物狂ひの抵抗をつゞけてゐるが、同日正午までに判明したゞけでも遺棄死體二百、溺死三百、鹵獲輕機十六。

宜昌西北方長橋溪を挟んだ重疊たる山嶽に據る敵四個師約二萬に對して徹底的掃蕩中であつた我が諸部隊は九日夫々所期の目的を完全に達成、何れも現駐地に引揚げたが、行動開始以來約二週間山嶽と灼熱の中の苦闘にも拘らず次の如き大戦果を收めた。

▽敵遺棄死體三、五二三△捕虜七五△鹵品迫撃砲二、重輕機一六、小銃二六一
當地軍部筋の情報によれば、獨軍はウクライナ占領を目指してキエフ南方の進撃戦に七十個師團百萬名を越ゆる大兵力を動員してゐるといはれる。

八月十二日

中華民國に於ける麻業等取締令（勅令第

八一五號）既成國民服中衣最高販賣價格指定（商工省告示第七〇〇號）公布

江蘇、浙江、安徽三省にまたがる揚子

江下流一帯に續行中の掃蕩戦の七月月中における綜合戦果は左のごとし、

交戦兵力二萬六千、交戦回数二百四十六、敵遺棄死體二千、捕虜投降千八百五十、鹵獲品迫撃砲一、重輕機二十一、小銃八百十九、拳銃百、手榴彈千五百五十三、その他押收物資多數、わが戦死六十七、中國軍三。

鹽城をはじめ江北の各據點を失つた新四軍敗殘部隊は、一時北方に遁走をはかつたが、重慶側第八十九軍に退路を斷られたゞゆゑ、わが軍に向つて苦しまぎれの反撃を試み、その都度わが精銳によつて粉碎されてゐる、戦果左の如し、

▲敵遺棄死體三百、鹵獲品輕機五、手榴彈三百、小銃彈藥多數。

トランスツオエアン通信が獨軍事當局筋より獲たる情報によれば、南部ウクラ

イナ地方において獨軍は息をもつかせぬ

追撃戦に移つて、相當廣大なる地域を占領し、その先鋒部隊若干はすでに黒海沿岸に到達したと、キエフ南方のドニエプル河下流地方はすでに獨軍の砲火に曝されるに至つたので、赤軍はこの地域においてドニエプル河を軍事的交通路として使用するに多大の障害を來すに至り、かつ獨軍が南部ウクライナの鐵道線若干を事實上その掌中に収めたので、この地域における赤軍の全交通組織はほとんど崩潰し、赤軍はドニエプル河灣曲部地帯の依然赤軍の手中にある殘部をもはや何時までも持ちこたへることができない状態となつた。

八月十三日

ステープルファイバー及ステープルファイバー糸 昭和十五年一月告示第一四號
中改正 (商工省告示第七〇五號) 更生糸
織物販賣價格指定 昭和十六年五月告示
第四三六號中改正 (商工省告示第七〇六

號) 公布

本十三日鍋田部隊長を總指揮官とする嶺、秋山、中原、須藤各部隊長の率ゐる海軍航空部隊は、左記の地點を爆撃し多大の戦果を収めたり、

一、昆明西方敵高角砲陣地を猛爆し完全にこれを沈黙せしめたり 一、昆明附近敵軍事施設 (憲兵隊、市政府その他) を爆撃全弾命中、六箇所より炎上するを認めたり。

ドイツ軍の東部作戦を牽制せんとする英空軍の獨領來襲はここ數日毎日のごとく行はれてゐるが、爆撃の効果は極めて僅少と見られ反對に英機の撃墜されるもの多數を數へ、却て英空軍の大打撃となつてゐる模様である、十二日午後より十三日午前にかけて北フランスおよびドイツ領上空で撃墜された英機は合計六十機に達し、同じ期間に東部戰線でドイツ空軍および高射砲のために撃墜されたソ聯軍飛行機の數は百八十四機に達し、僅か

二十時間以内に英ソ兩空軍は合計二百四十四機を失つたとドイツ側では發表してゐる。

APモスクワ電によるとソ聯情報局は十三日夜ソ聯軍がモレンスクを數日前放棄したむね公表した、なほソ聯側の情報では目下ケクスホルム地區 (レニングラード北方百二十キロ) およびペーラヤ・ツェルコフで激戦が展開してゐる。

八月十四日

ハトメ等最高販賣價格指定 (商工省告示第七〇七號) 公布

平沼國務大臣は私邸に於て西山直彦と稱する者に狙撃せられ犯人は直に逮捕せらる。

現下内外の情勢に鑑み食糧自給強化並に低物價水準確保の爲昭和十六年よりの産米にして管理米となりたるもの (小作米に付ては管利米とならざるものを含む) に付その生産者に對し石當五圓の奨勵金を交付するとともに昭和十六年より

の産米の政府買入價格を石當一圓引上ぐることとし他方消費者に對する販賣價格は現在の程度に据置くこととなつた。

中支海軍航空部隊は四川省方面天候の好天に乘じ、月明期間を利用し八月八日以来敵首都重慶および附近一帯の重要據點に對して晝夜連続の大爆撃を續行中なり本爆撃は二時間乃至五時間の間隔をもつて實施せられ、本日午前十時まで約百五十時間における爆撃回数は約四十回を算し、參加延数は約一千に達せり本攻撃により重慶は隨所に火災を生じ、重要軍事、政治、生産諸機關諸施設の破壊せるもの多數に上り十一日黎明における成都奇襲による敵機二十一機の墜落とともに甚大なる成果を收めつゝあり。

去る八日よりわが海軍が晝夜の別なく連續百數十時間にわたつて敢行した重慶第二十六次大爆撃は、十四日午後二時の最後の大攻撃によつて凄絶極まるうちに終りを告げた。すなはち柴田部隊長を最高

指揮官とする各部隊海軍は四川上空にたちこめた積亂雲層を突破して午後二時燃えさかる重慶に殺到、西郊の敵軍政重要地帯および揚子江南岸の軍事施設地帯に巨彈の雨を浴せ、敵の各重要施設を徹底的に爆碎、數千メートルの高さまで黒煙の立上る重慶を尻目に未曾有の大編隊を四川上空に誇示して堂々〇〇基地に凱歌をあげた。かくて今二十六次重慶總攻撃は抗日の牙城およびその周邊を一週間にして炎の巷と化せしめた。

田中部隊長を總指揮官とする各海軍部隊の精銳は、本十四日もまた昆明を急襲、兵工廠、機械廠を爆破するとともに自動車溜りを猛爆撃し、敵の貯藏せるガソリンに命中彈を與へ、二箇所より大火災を生ぜしめ全機悠々歸還したるが、その大火災は四、五マイルの地點よりもなほこれを認め得たり。

ルーズヴェルト、チャーチル共同宣言は今次戦争完遂後のよりよき世界建設の

基礎として次の八項目を擧げてゐる。
一、英米兩國は領土その他の擴張を求めざること。

二、關係國民の自由意思によつて表明された希望に背馳するとき領土的變更を行はざること

三、大戦の結果政府ならびに主權を奪はれたるすべての國民に對して、彼等の意思に従つて政府を構成し、主權と獨立を回復するの權利を尊重すること

四、戰勝國の大小、または戰敗國の區別なく通商ならびに世界資源獲得の平等權について十分なる尊重をなす

五、兩國はすべての國が經濟の分野において務働水準の改善、經濟的發展および社會安定の確保を目的として全的に協力することを欲する

六、ドイツ獨裁を完全に破壊したるのちに兩國はすべての國家に對し彼らが自己の領土内で安全に居し得る方法を與へ、かつすべての土地においてすべての人間

が恐怖および缺乏から解放されて生活し得る保證を與へるが如き平和の樹立されんことを欲する。

七、右の如き平和は總ての人間が公海及び大洋を何等の妨害なしに通航し得しむ八、現實的ならびに精神的理由の下に世界各國は武力行使を拋棄しなければならぬと信ずるしかして陸海空軍が侵略者によつて使用される限り、將來の平和は維持されなから、恒久的、一般的安全保障體制樹立を前にしてまづ侵略國の軍備縮小は不可欠と信ずる従つて平和愛好國家をして軍備の負擔を軽減せしめるため一切の手段を助長することに努める。

八月十五日

外國人の入國滞在及退去に關する件中改正(内務省令第二三號)蠶糸業統制法施行規則中改正(農林省令第六一號)繭絲織維製造業許可規則(農林省令第六四號)公布

畏き邊りでは今事變に赫々たる武功を

樹てた勇士に對し行賞の御沙汰あらせられ、第三回支那事變生存者論功行賞として十五日賞勳局ならびに陸軍省から發表された、今回の恩賞に浴したものは上海戰をはじめ徐州會戰、武漢攻略戰、襄東會戰等に參加した田中(靜)〔荻洲〕部隊の軍人(將官を除く)および軍屬で、そのうち金鵝勳章を授賜せられたもの二千九百五十五名、武勳拔群の殊勳甲は功三級金鵝勳章ならびに勳三等旭日中綬章を賜はつた秋永力大佐以下四十一勇士である。

任外務次官 天羽 英二
依勳功特授男爵 長與 又郎
本十五日鍋田部隊長を指揮官とする峰、中原、須藤の各海軍航空部隊は長驅演練公路中間の要衝昆明西方三百キロの下關を事變以來初めて急襲し密集せる敵自動車群に對し全彈を命中せしめ大火災を生ぜしめ甚大なる戦果を收めて全機無事基地に歸還せり。

八月十六日

小麥及小麥粉最高販賣價格指定昭和十五年一月告示第一號中改正(商工省告示第五八七號)和紙販賣價格指定昭和十六年二月告示第一五三號中改正(商工省告示第七一〇號)フルファツション式婦人長靴下最高販賣價格指定(商工省告示第七一一號)廣幅絹織物捺染及其他の加工地最高販賣價格指定(商工省告示第七一二號)公布

【情報局發表】帝國政府は日泰間の歴史的友好關係を一層増進するの見地にもとづき同國政府と協議の結果、兩國公使館を相互に大使館に昇格せしむることに決し、昭和十六年八月十六日在泰國帝國公使館を大使館に昇格せり、なほわが方は初代駐泰時命全權大使として坪上貞二氏を起用することに決し、すでに泰國政府のagremanを取付けたり。